



無賃電車の雑踏（『東京震災録』写真帖及附図）

東京市電気局は震災直後から全線の被害状況を調査し、変圧所その他の復旧に努め、9月6日には早くも神明町車庫前—上野三橋間で運転を開始しました。まさに復興事業の先がけということができるでしょう。以後、日を追って開通区間が増えていきました。

当時、政府が地方へ向かう罹災者の汽車賃・船賃を無償としていたこともあり、運転を再開した市電も無料とされました。しかし、あまりの混雑で乗客の安全確保が難しく、また罹災証明書の発行事務も負担が過大となり、無賃乗車制は9月25日まで打ち切られました。